

【報道関係各位】

三谷産業株式会社
2019年12月17日

社員のキャリア形成支援を拡充

～社員の自己実現と組織の活性化に向け、専門アドバイザーによる相談窓口を開設～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、社員が継続的に自らの能力を磨き、自ら行動し、職務経験を積み上げていくことを支援するため、キャリアアドバイザーによるキャリア相談を開始しました。

社員の多様な価値観やワーク・ライフ・バランスを尊重しつつキャリアプランを実現できるように、人事制度や研修体系の整備とともにキャリア形成を支援する取り組みを拡充することで、社員の自己実現と組織の活性化を図ります。

■「キャリア形成支援」の必要性

2016年4月の職業能力開発促進法改正において、社員の能力向上について、社員が自ら責任を持って職業生活設計とそのための能力開発に努めるとともに、会社がそのための支援の機会を提供することが義務付けられました。

三谷産業は、社員が自身の可能性を拡げて幸せなライフキャリアを築くために、自ら継続的に能力を磨き職務経験を積み上げることは、会社と社員双方にとって必要なことだと考えています。

こうした考えから、これまでも希望者に対してキャリアデザインワークショップおよびフォローアップの機会を提供してきたほか、昨年度からは、マネジャーの役割の1つとしてメンバーのキャリア形成に関するヒアリングを取り入れるなど、社員が自らのキャリア形成について考える仕組みを導入しています。

今回、新たに専門のキャリアアドバイザーによる相談窓口を設置することで、社員のキャリア形成に関する相談対応や支援の機会を拡充します。

■三谷産業におけるキャリア形成支援の取り組み

①キャリア相談窓口の設置と運用

一般社団法人キャリアアドバイザー協議会（代表理事 花田光世氏[※]）に所属するキャリアアドバイザーによる面談を実施。

※花田光世氏は、三谷産業の社外取締役も務めています。

②キャリア形成に関する情報提供

主体的にその人らしく働くための社内制度の活用事例やキャリア形成支援に関する情報を、社内グループウェア（POWER EGG[®]）への掲示や社内報により提供。

③キャリアデザインワークショップの運営とフォローアップ

社員が自身のキャリアプランを考え、自らモチベーション開発に取り組むための機会を提供。



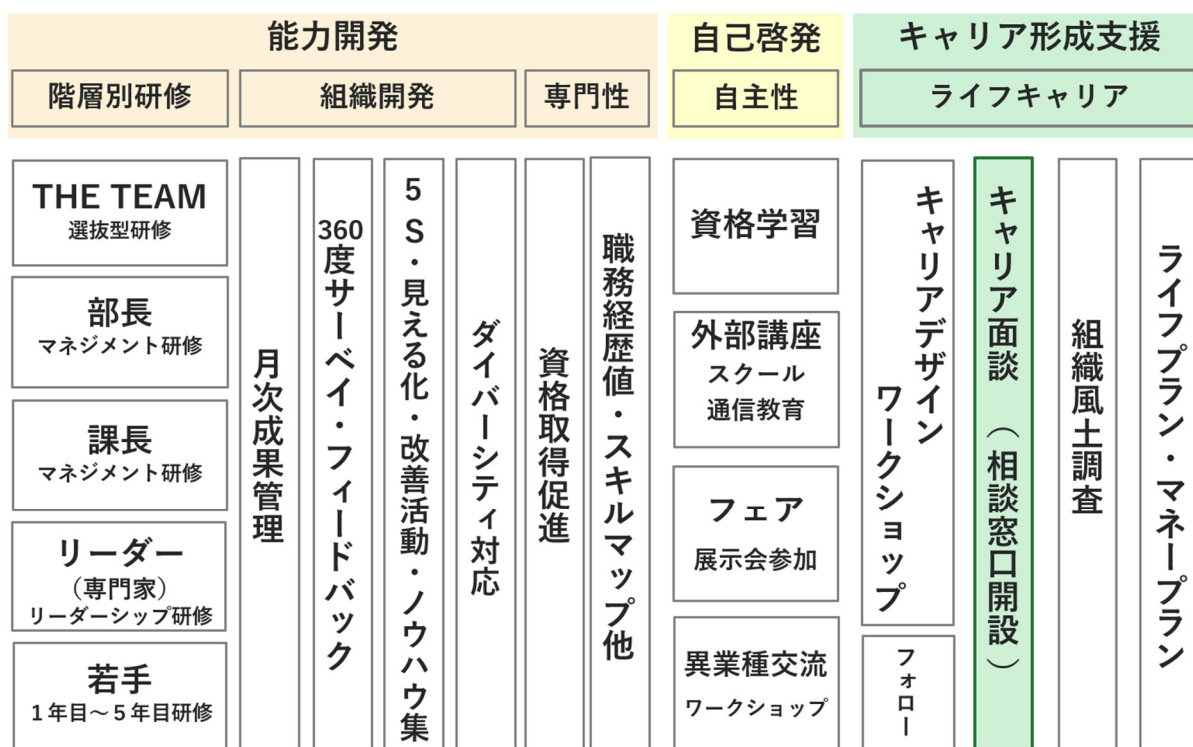
キャリアアドバイザーによる面談

なお、相談対応を行うキャリアアドバイザーについては、社内からも候補者を選出して養成を開始します。

三谷産業では、これまでも社員のライフステージに応じた多様な働き方を支援する制度を整備してきました。今後も、社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、社員が安心していきいきと働ける職場環境づくりを目指してまいります。

(補足情報)

■ 三谷産業における社員の能力開発・キャリア形成支援制度の体系



■ 三谷産業グループについて

三谷産業グループは、化学品、樹脂・エレクトロニクス、情報システム、空調設備工事、住宅設備機器、エネルギーの6つの事業を持つ複合商社です。1928年に金沢で創業して以来、現在は、金沢と東京の二本社体制を持つ三谷産業株式会社を中心に、子会社28社（日本18社、海外10社）で事業展開しています。商社でありながらも、製造・物流などの機能をあわせ持ち、さらに技術部門とも連携した提案型営業を推進しています。

<本件に関するお問い合わせ先>
 三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部 TEL：03-3514-6003